

冬道の転倒防止「砂入りペットボトルの作成・配布」活動（中学部・高等部） ～紋別養護学校と紋別協働型道路マネジメントとの取組～

1 取組の概要について

- ・平成 24 年度から、「紋別協働型道路マネジメント」（北海道開発局網走開発建設部、紋別市役所土木課、市内女性団体「ローズヒップス」他）と協働して、総合的な学習の時間の取組で、「砂入りペットボトル」の砂入れ作業、市民への配布活動を行っています。
- ・北海道開発局より滑り止め防止の「焼砂」の提供を受け、人と関わり合いながら取り組むことをねらいとして、各職員と一緒に、冬道の凍結路面に手を汚さず散布できる「砂入りペットボトル」を作製しています。
- ・地域との共同学習やつながりを意識した教育活動として、紋別市民への社会貢献をねらいとし、市内公共施設（市役所、教育委員会、郵便局、銀行など）への配布、市民への配布（手渡し）を行っています。



2 これまでの経緯

年 度	取 組
24 年度 (2012)	紋別養護学校と紋別協働型道路マネジメントが共同した砂入りペットボトル配布事業開始
25~27 年度 (2013~2015)	紋別養護学校近郊（大山町）の公共施設及びコンビニエンスストアでの配布を行う
28 年度 (2016)	紋別養護学校近郊（大山町）の町内会の協力を得て、町内会の各家庭を訪問し、配布を行う
29 年度 (2017)	配布先を紋別市内中心部に移し、市内公共施設（市役所、郵便局など）への配布や氷紋の駅への買い物客への配布を行う

3 学習①（砂入れ作業の様子）



【中学部】



【高等部】

職員の方と力を合わせて、砂入りペットボトル約 600 本を作りました。

4 学習②（配布活動の様子）



【中学部～紋別警察中央交番へ】



【高等部～氷紋の駅のお客さんへ】

砂入りペットボトルを渡した皆さんからは、「ありがとう」「とても助かるよ」など、たくさんの言葉を掛けてもらいました。